

広島県教育委員会教育長 様  
 各教育事務所長・支所長 様  
 各市町教育委員会教育長 様  
 各 学 校 長 様  
 各 関 係 者 様

広島県小学校教育研究会家庭科部会長 藤川太恵子  
 広島県小学校家庭科教育研究大会現地実行委員長 上野 宏道  
 神石高原町立豊松小学校校長 住田 葉子

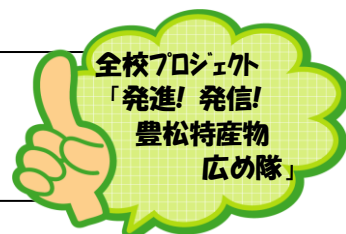
◀ 第二次案内 ▶

平成28年度  
**第53回広島県小学校家庭科教育研究大会（東部大会）**

初秋の候 皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
 さて、標記の研究大会を次の通り開催いたします。小学校家庭科の充実発展のため、ご多用とは存じますが、多数の皆様にご参加いただき、ご指導ご助言をいただきますようご案内申し上げます。

◀ 研究主題 ▶

**「地域に学び、よりよい生活を創り出す子供の育成」**  
 ～食育を基盤とした思考力を育てる家庭科等の授業の工夫～



- (1) 期 日 平成28年10月6日（木）
- (2) 会 場 神石高原町立豊松小学校  
 〒720-1704 神石郡神石高原町下豊松5323番地  
 TEL(0847)84-2011 FAX(0847)84-2422
- (3) 主 催 広島県小学校教育研究会家庭科部会  
 第53回広島県小学校家庭科教育研究大会（東部大会）現地実行委員会  
 神石高原町立豊松小学校
- (4) 共 催 広島県教育委員会
- (5) 後 援 尾道市教育委員会 三原市教育委員会  
 府中市教育委員会 世羅町教育委員会  
 神石高原町教育委員会



9:00 9:30		10:15 10:30		10:50 11:30		11:40 12:30		13:15 14:00		14:10 14:30		14:40 16:10		16:30	
受付	公開授業	移動	児童発表	開会行事	研究報告	移動	研究協議	昼休 食憩	分科会	移動	講評	準備	記念講演	閉会行事	

(7) 内容

◇公開授業

学年・学級	教科等	教室	单元名	授業者
1年	生活科	1年教室	ひとつぶのたねから ～名探偵こんにやく隊～	坪田 泰江 脊尾 榮美子
2年	生活科	2年教室	もっと行きたいな町たんけん ～じん石牛はかせになろう～	赤木 芳恵
3・4年	総合的な学習 の時間	3・4年教室	まる豊トマトPR大作戦	藤岡 豊一 高橋 茉奈
5年	家庭科	5年教室	食べて元気に ～豊松みそ汁をつくろう～	兼重 智考 瀬尾 典子(栄養教諭)
6年	家庭科	6年教室	くふうしようおいしい食事 ～豊松ランチをつくろう～	松葉 伸恵
特別支援学級 (知的)	生活単元 学習	たんぼぼ教室	ピオーネ仙人のおくりもの	安部 友昭

◇児童発表 豊松一番太鼓 (地域の伝統文化を継承しています)

◇公開授業に係る研究協議

協議会	会場	司会者	授業者	記録者	指導助言者
家庭科 (5年, 6年)	体育館	神石高原町立 来見小学校 教諭 古木 千晶	兼重 智考 瀬尾 典子 松葉 伸恵	神石高原町立 来見小学校 教諭 村上 朱美	広島県立教育センター 教科教育部 指導主事 小榎 由美
生活科 総合的な学習の時間 生活単元学習	1階 多目的 ルーム	神石高原町立 神石小学校 教諭 松本 美紗江	坪田 泰江 脊尾 榮美子 赤木 芳恵 藤岡 豊一 安部 友昭	神石高原町立 神石小学校 教諭 川原 典子	広島県東部教育事務所 教育指導課 指導主事 酒巻 宏文

◇分科会

	テーマ	提案者	司会者	記録者	指導助言者
1	福山に愛着と誇りを持ち、 変化の激しい社会をたくましく 生きる子どもを育てる家庭科授業 ～根拠を明確に表現し、 学び合う子どもの育成～	福山市立 駅家西小学校 教諭 鳥羽 美紀 福山市立 久松台小学校 教諭 本藤 充生	福山市立 湯田小学校 教諭 勇谷 美奈子	福山市立 津之郷小学校 教諭 三谷 繁壽	福山市教育委員会 学校教育部指導課 指導主事 明賀 果織
2	くらしを見つめ、進んで よりよい生活づくりをする 子どもの育成 「わたしはシェフ ーくふうしよう楽しい食事ー」	東広島市立 中黒瀬小学校 教諭 岡 芳香	東広島市立 寺西小学校 教諭 笠井 美香	東広島市立 板城小学校 教諭 大石 充洋	東広島市教育委員会 学校教育部指導課 主任指導主事 豊崎 眞理子

◇研究発表 神石高原町立豊松小学校 研究主任 松葉 伸恵 指導教諭

◇講評 広島県教育委員会 教育部 義務教育指導課 白井 良枝 指導主事

◇記念講演 広島大学大学院 教育学研究科 鈴木 明子 教授



講師紹介 講師 広島大学大学院教育学研究科 鈴木 明子 教授

演題

「家庭科で育成する資質・能力の再考  
—生活者としての思考力を育てる授業の工夫—」



中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会 家庭、技術・家庭ワーキンググループ 委員である鈴木先生から、これからの家庭科教育の最先端のお話をお聞かせいただきます。



<経歴>

- 平成元年 広島大学大学院教育学研究科助手
- 平成6年 倉敷市立短期大学服飾美術学科講師・平成9年同助教授
- 平成10年 長崎大学大学院教育学研究科助教授
- 平成13年 広島大学大学院教育学研究科 学位 博士（教育学）
- 平成16年 広島大学大学院教育学研究科准教授
- 平成25年 広島大学大学院教育学研究科教授 現在に至る

<著書>

- 『小学校学習指導要領解説家庭編平成20年8月』東洋館出版社、
- 『平成20年改訂小学校教育課程講座家庭』ぎょうせい、
- 『教育実践力をつける家庭科教育法』大学教育出版等

文部科学省学習指導要領の改善等に関する調査研究（小学校家庭）  
小学校学習指導要領（家庭編）改善協力者（2006～2008）



全校プロジェクト「発進! 発信! 豊松特産物広め隊」

豊松で生産される食材について調べ、それらの食材を使ってよりよい食生活を広めていく活動を通して、豊松を愛し、自分の生活を豊かにしようとする児童の育成に取り組んでいます。



例題1 例題1 豊松特産物広め隊  
〔プロジェクトのねらい〕 豊松で生産される食材について調べ、それらの食材を使ってよりよい食生活を広めていく活動を通して、豊松を愛し、自分の生活を豊かにしようとする子どもを育てる。

学年	平成27年度 2～3学期		平成28年度 1学期		平成28年度 2学期	
	生活科 豊松の産物について調べよう	生活科 「ひとつみの産物からここんがく産物〜」 産物を使ったお弁当作り	生活科 「ひとつみの産物からここんがく産物〜」 産物を使ったお弁当作り	生活科 「ひとつみの産物からここんがく産物〜」 産物を使ったお弁当作り	生活科 「ひとつみの産物からここんがく産物〜」 産物を使ったお弁当作り	生活科 「ひとつみの産物からここんがく産物〜」 産物を使ったお弁当作り
1年						
2年						
3年						
4年						
5年						
6年						

課題意識を持たせ、協働学習の場の工夫を通して

(8) 参加費 3,000円 (当日受付でお支払いください。)

(9) 参加申込 参加申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXでお申し込みください。  
お弁当を希望される方は¥1,000 (お茶付) でご用意いたします。

申込期限 9月26日(月)

申込先 大会事務局 〒720-1602 神石郡神石高原町井関 2696 番地  
神石高原町立来見小学校 Tel(0847)85-2800 Fax(0847)85-2814



(10) 会場案内

東城方面(東城IC)



<東城方面から>  
 東城IC出口~① 約23km  
 <福山方面から>  
 福山東IC出口~① 約31km  
 ①~② 約4.4km  
 ②~③ 約1.9km  
 ③~④ 約1.4km  
 ④~⑤ 約0.5km  
 <注意>  
 カーナビ等で他の近道を示すことがありますが、①まで来られることをお勧めいたします。

### 第53回広島県小学校家庭科教育研究大会 参加申込書

( 郡 ・ 市 )		所属 電話	FAX		
職名	参加者氏名	公開授業の研究協議会希望	分科会希望	弁当	備考
		( )家庭科 ( )生活科・総合的な学習の時間・生活単元	1・2	要・不要	
		( )家庭科 ( )生活科・総合的な学習の時間・生活単元	1・2	要・不要	
		( )家庭科 ( )生活科・総合的な学習の時間・生活単元	1・2	要・不要	

※研究協議会・分科会の希望に○印を付けてください。

(実行委員の方は備考欄に○印を付けてください。)

